

平成 30 年度細胞検査士会第 1 回役員会議事録

日時：第 59 回日本臨床細胞学会総会(春期大会)
2017 年 6 月 1 日(金曜日) 15:30~16:30
場所：ロイトン札幌 2 階 ハイネスホール

出席者：【会長】伊藤 仁，【副会長 2】小松 京子，三宅 真司，【幹事】平田 哲士，阿部 仁，仲村 武，原田 仁稔，河原 明彦，阿部 英二，古田 則行，南部 雅美，小川 勝成，山城 篤，遠藤 浩之，竹中 明美，今枝 義博，安達 博成，有田 茂実，石井 保吉，及川 洋恵，柿沼 廣邦，片山 博徳，小山 芳徳，笹井 伸哉，渋谷 康雄，田路 英作，野崎 正行，畠 榮，服部 学，羽原 利幸，廣井 禎之，深澤 政勝，藤井 和晃，松本 慎二，町田 知久，丸川 活司，丸田 淳子，三浦 弘守，山本 秀巨，横山 俊朗，【監事】片岡 秀夫
欠席：加戸 伸明，小林 幸弘，棚田 諭，土田 秀，藤田 勝，上野 喜三郎

会の成立：役員 46 名中 40 名出席，委任状 5 名，仲村庶務委員長が成立を宣言
議長選出：役員会運営に関する細則第 6 条により，平田総務委員長が選任された
議事録作成：庶務委員会(井上，石堂)
議事録署名人：伊藤会長，片岡監事

会長挨拶 伊藤会長

昨年の福岡の学会において、50 周年記念式典・祝賀会、細胞診と細胞検査士展、市民公開講座が無事、盛会裏に終了、多くの細胞検査士、特に九州地区の皆様方、細胞検査士会関係各位の皆様方に感謝致します。現在 50 周年記念誌発行に向け準備進めている。

本年度は細胞検査士会役員改選、細胞学会も評議員選出並びに理事選挙がある。

理事は 38 名中 3 名が細胞検査士であり、評議員方には細胞検査士の理事への選出協力をお願いします。

細胞学会の細胞検査士での正会員数は 1000 数十名で中々増加しない、あり方委員会の方から正会員を増やすための提案等がありますので、ご検討をお願いしたい。

4 月 21 日日本臨床細胞学会理事会にて 2020 年日本臨床細胞学会秋期大会会長に細胞検査士として初めて伊藤会長が選出された。2020 年 11 月 21-22 日にパシフィコ横浜ノースで開催する。参加人数が多いことが、一番重要ですので、たくさん宣伝して下さいますようお願いいたします。

1. 議事録確認

「平成 29 年度細胞検査士会第 2 回役員会議事録案」を確認した。

2. 報告事項

議案書 IV 報告事項のように報告があった。

3. 議案

- 1) 第 1 号議案：附則年号表記を西暦(年号)の併記とする 承認
- 2) 第 2 号議案：委員会に関する細則第 2 条(業務)の変更 承認
- 3) 第 3 号議案：2019-2020 年度役員選挙実施要綱(安達幹事案) 不承認
採決の結果，賛成 4，反対 23 で否決した
- 4) 第 4 号議案：2019-2020 年度役員選挙実施要綱(執行部案) 承認
採決の結果，賛成 31，反対 4 で可決した
- 5) 第 5 号議案：平成 29 年度事業報告及びこれに伴う収支決算書 承認
議案説明は阿部経理委員長，片岡監事が監査報告した。

4. 確認・検討事項

- 1) 都道府県代表者メーリングリスト構成員について（都道府県代表者委員会）
代表者委員会メーリングリストに各委員会委員長を加える
- 2) 日本臨床細胞学会における細胞検査士の正会員を増やす方策について（あり方委員会）
 - ① 細胞検査士教育セミナー，ワークショップにおける講師，座長，当日の運営スタッフ
 - ② 日本臨床細胞学会総会，秋期大会におけるプログラム委員や座長，シンポジスト
 - ③ 細胞検査士養成所/養成課程における講師

①～③について，正会員の優先性を実施者に要望する。
①の受講者における正会員に優先性は引き続き検討する。（賛成 26，反対 8）
- 3) Love49 事業の今後の対応（渉外委員会）
 - ① 子宮頸がんを考える市民の会が財政的に厳しい。
 - ② 委員長会議では継続していく方向性が確認された。
 - ③ 細胞学会からは各都道府県に 5 万円支給され，これ以上は困難
 - ④ 資金面について検討していく必要がある。
 - ⑤ 各都道府県と役員会で引き続き検討していく。

5. 議案審議内容

- 1) 第 4 号議案：2019-2020 年度役員選挙実施要綱（執行部案）

藤井幹事：選挙管理委員選出の会員がわかりやすい具体的な方法を明記する必要はないのか？選挙管理委員をやってみたいという会員も納得するのではないか

平田議長：総務委員長の立場から，委員会の委員長は会長が決め，選挙管理委員会だけを会長が決めているわけではない。選挙管理委員会を選出する方法を別に考えるならば細則を作成する必要があると思う。

山本幹事：安達案は選挙後に行ったアンケートに基づいた結果を反映した案であり，執行部案と大きく異なるものでも安達幹事個人の案でもない。執行部で細胞検査士の正会員数を増やすことをお考えであるならば，もう少し柔軟な対応が必要ではないか。

平田議長：ご意見に対し私も同感です。会は規則で成り立っているので会員の意見を吸い上げるための規則を策定する必要があると言っているまでです。

山本幹事：三宅副会長，執行部案を策定する際にはアンケートの結果を考慮したのか？

三宅副会長：選挙管理委員長は規約委員長が兼務するのではなく，会長が指名するなど独立した委員会となることはアンケートを加味した内容になっていると理解する。

山本幹事：会長は会員の声を役員会に反映させるために何か規則が必要だとお考えですか？

伊藤会長：選挙に関することで会員の意見を吸い上げる必要があれば，規則は当然だと思います。

平田議長：会員の意見を吸い上げないのではなく，我々は規則に基づいて運営すると申しているまでです。

山本幹事：その仕組みを作る方法を総務なり規約の方で提案して頂きたい

平田議長：現在ある規則に基づいて実行して頂き，不備があれば，変更，細則の追加などを議論して頂きたい。

仲村庶務委員長：会員から会報の方に得票数を開示してほしいというご意見がありました。執行部案はそれを反映した案になっていると考えます。

6. 確認・検討事項審議内容

「細胞検査士教育セミナー等受講に関して，正会員に優先性について」

澁木幹事：正会員がなかなか増えない現状の中，ここで何かアクションを起こす必要がある

山城委員長：正会員の優先性について個人的に学会に対する貢献と本人の向上心も上がってくると思う。

原田委員長：アンケートの結果より特に若い世代から正会員のメリットについて希望がある。

藤井幹事：教育セミナー等の受講者に正会員を優先させれば、細胞検査士会としては正会員、準会員を区別しないというスタート時の説明と異なるのではないか。実際運用するのであれば、全会員に周知・納得できるような説明を考えなければならない。そうでなければ準会員から反発が出るのではないか。

松本幹事：今回の案はあくまで優先されるということで準会員と正会員に大きく格差をつけるものではない。

安達幹事：座長、シンポジストに関しては正会員から選ぶ件に関しては、やむを得ないとも考えるもセミナー、ワークショップの参加に関しては正会員、準会員に優劣をつける件に対しては反対します。

古田委員長：学会が受け付け窓口になっているので必然的に受け付け順になるのではないか

原田委員長：正会員でセミナーに受講できないことがあり、平等ではないとの意見もある。正会員は会費を多く払っているのにメリットがない為、正会員が準会員になる可能性も高いのではないか。

伊藤会長：実行するならばまず正会員の募集期間、次に準会員の募集期間と分けることになる。

田路幹事：細胞検査士会の中で受講というのは平等であるべきで、正会員・準会員で差をつけるのは認めるべきではない。

廣井幹事

細胞学会がLove49について細胞検査士会に協賛金を出す形で話が進んでいる。検査士会から新たな提案があれば、細胞学会で議論していくので早急に検査士会で意見・案をまとめ提案するよう話があった。

7. その他

石井幹事：2020年の秋期大会会長に伊藤会長に決まったが、検査士会として取り組むために50周年の様に積み立てを考えたかどうか。

阿部経理委員長：2019年、2020年に200万ずつでも積み立てれば50周年の残額と合わせ500万という資金ができる。来年の予算にそれを組み込んでいきたい。

平田議長

積み立てをやるかやらないか、金額等も含めメーリングリストで検討して頂きたい。